

2024年5月 発行

同窓会 たより

**千葉大学看護学部・
看護学研究科同窓会**

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1

ホームページ <https://www.n.chiba-u.jp/dousoukai/index.html>

ご挨拶

2023年度同窓会会長 岡田 忍 (3期)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから1年が過ぎ、コロナ前の生活がすっかり戻ってきたようです。コロナ禍の中で経験した良いことは後退させないように、また悪いことは繰り返さないようにしたいものです。

今年度の総会では、重要な審議事項として、名簿の発行中止とメールによる「同窓会たより」の発信の2件があります。1つ目の名簿の発行中止は、昨年度に実施した意向調査の結果、名簿情報の流出といった名簿のデメリット等を考慮した上での提案となります。2つ目のメールによる同窓会たよりの発信については、約6割の会員がメールアドレスを登録していること、会員の増加や諸費用の高騰が会計を圧迫していること、タイムリーな情報発信が可能となることから、2026年度のたよりからの適応を予定しております。同窓会名簿の発行、紙媒体のたよりの発送を中止することに関しては、同窓生の皆様が安全に情報を共有できるような場を検討していく予定です。詳細については総会資料をご覧ください、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

また、2024年度の役員に関しては、同窓会長を3期生の森恵美さんがお引き受けくださるとのことですので、本件についてもご

承認のほど、よろしくお願い申し上げます。

早いもので千葉大学看護学部が国立大学初の看護学部として創設されてから、2025年で50年になります。その間、多くの卒業生・修生を臨床・教育の場に送り出してきたことは、50年という歴史を持つからこそであり、卒業生・修生の一人として大変誇らしく思います。同窓会でも看護学研究院とともに50周年をお祝いしたく、2024年は創立50周年の行事について準備を開始します。おそらく、同窓生の皆様にも様々なご協力をお願いすることになるとは思いますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、2007年度に中村前会長より会長を引き継いでからこれまでの間、同窓会活動にご協力・ご理解をいただきました役員の皆様、会員の皆様にこそより感謝申し上げます。2024年度は、副会長として森会長をサポートする予定ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

2024年度の活動方針として以下の4つを提案します。

- ① 学術集会参加費助成、図書館への寄付など現在実施している準会員・会員と同窓会のつながりを強化する活動を継続する。
- ② 会員情報の適切な管理について検討する。
- ③ 会員への情報発信の在り方について検討する。
- ④ 看護学部設立50周年記念事業の準備を進める。

看護学研究院長挨拶

千葉大学大学院看護学研究院長 諏訪 さゆり (10期)

千葉大学看護学部の同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

令和5年度の千葉大学では、学長でいらっしゃった中山俊憲先生がご病氣により11月にご逝去されるという悲しい出来事がありました。「故 中山俊憲学長を偲ぶ大学葬」が12月に行われています。その直後、生前の中山先生が申請にご尽力された、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に採択され、千葉大学のこれまでの実績を踏まえて、令和6年度から免疫学・ワクチン学研究、予防医学研究、データ・サイエンス、AI等を戦略的に強化し、成果の社会実装に繋げることに専心することとなりました。看護学研究院へは、特にデータ・サイエンス、AIを活用したWell-beingの実現に貢献することが期待されています。

令和6年元旦には能登半島地震が発生し、多くの方々が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。自ら被災された中でも、被災者支援にあたられている同窓会会員や本学関係者がいらっしやると伺っています。深く敬意を表します。本学看護学研究院には、災害看護学副専攻プログラムがありますが、その意義の大きさをあらためて実感しています。

令和6年3月末には、岡田忍先生、北池正先生、手島恵先生、小宮山政敏先生、森恵美先生という5名の偉大な先生方が定年退職されました。先生方は長年千葉大学のためにご尽力され、名誉教授とされています。4月からは次のステージの人生を楽しんでいただきたいと願っています。

2024年度には千葉大学が創立75周年を迎えますが、2025年度には千葉大学看護学部創立50周年です。千葉大学看護学部の発展を牽引してくださった諸先生方・先輩方をはじめとする関係者の皆様に感謝し、これからの発展の新たな起点となるよう創立50周年をお祝いするイベントを企画します。同窓会長をはじめとする会員の皆様のお力をぜひともお借りしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。そして、岡田忍先生には同窓会長として長きにわたり看護学部をご支援いただきましたこと、深く御礼申し上げます。

さて、ここ数年、同窓会の皆様にアピールさせていただいておりますが、大学院看護学研究科への進学をご検討いただきたく、今回は博士前期課程についてご紹介いたします。看護学研究科博士前期課程は、研究者育成のための看護学コースと、看護管理学プログラム、高度実践看護学プログラム（小児看護、がん看護のCNS育成）、特定看護学プログラムの3プログラムから構成される看護実践学コースの2コースから成り立っています。授業では、コースやプログラムを超えて大学院生が共に学ぶ魅力的な共通基盤科目が多数開講されています。詳細は、Webページでご確認いただければ幸いです。

激動の時代においても、看護職者が人々のWell-beingのために看護学に立脚して貢献し、そして様々な看護実践を通して看護学がさらに発展するためには、同窓会会員の皆様の実践知が必要です。ぜひ博士前期課程、そしてその後の博士後期課程への進学をご検討ください。

これからも、常に、より高きものを目指していく所存です。同窓会の皆様の応援をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

2023年度 総会報告

2023年度総会は、書面総会として開催しました。総会議事として、2022年度報告および2023年度議案について、同窓会たよりに掲載し説明させていただきました。

2022年度報告では、総務委員会から卒業生1名に対する学術集会参加費助成、名簿・たより委員会から名簿発行や会員情報管理の現状と課題、広報・渉外委員会から同窓会企画の開催等についての報告に加え、会計担当から2022年度決算が、報告されました。

2023年度議案では、岡田会長からの2023年度活動方針の提案に加え、各委員会の活動計画として、総務委員会から学術集会参加費助成における広報活動の拡大、名簿・たより委員会から名簿発行・会員情報管理に関する意向調査の実施、広報・渉外委員会から書面総会に伴う同窓会企画の中止等について説明があり、これらの活動に対して2023年度予算案が提案され、承認されました。

総会議事に対する議決はWebアンケートを以って決し、回答期限内に寄せられた415名のご回答のうち412名の「承認」をもって、2023年度の議案はすべて承認されました。2023年度書面総会へのたくさんのご参加と、ご回答をお寄せくださり、誠に有り難うございました。

千葉大学校友会 Curio が Facebook に移行します

千葉大学校友会は学部同窓会会員、教職員、在学生等を会員として、千葉大学及び各学部同窓会の発展に寄与し、会員相互の親睦・情報交換を図ることを目的に2002年に設立されました。

千葉大学校友会では卒業生の皆様をはじめ、千葉大学を応援してくださる皆様へ情報発信を行うため、「千葉大学校友会Facebook」を開設していますので、ぜひフォローをお願いします。



千葉大学校友会 URL

<https://www.facebook.com/ChibaUnivAlumni/>



お問合せ先 千葉大学校友会事務局
koyukai@office.chiba-u.jp

2023年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
決算

※1 予算との比較（計算式）収入「決算－予算」、支出「予算－決算」、△表記⇒マイナス、無印⇒プラス

正会員の収支

項 目	予 算	決 算	予算との比較※1
収入の部	計 6,167,587	6,228,431	60,844
1. 会費	計 6,158,587	6,218,969	60,382
1) 繰越金	5,162,577	5,162,577	0
2) 2023年度新入会員終身会費（12,000円×88名） 内訳：学部卒業生80名 修了生8名	996,000	1,056,000	60,000
3) 利子	10	392	382
2. 寄付	計 0	0	0
1) 名簿購入時寄付	0	0	0
3. 名簿委員会	計 9,000	0	△ 9,000
名簿代振込（3,000円×0件）他	9,000	0	△ 9,000
4. その他	計 9,000	9,462	462
同窓会たよりへのCANS29チラシ封入費として	9,000	9,462	462
支出の部	計 6,167,587	6,228,431	△ 60,844
1. 理事会	計 474,000	348,154	125,846
1) 会議費	10,000	0	10,000
2) 交際費	230,000	174,732	55,268
内訳： 校友会費（50,000円） 慶弔金（75,732円）※退官記念品・受賞お祝い等含む(6名) 亥祭祭への寄付（50,000円） 学部オープンキャンパス運営補助（予算60,000円）R5支出なし			
3) 準会員への支援	100,000	49,000	51,000
内訳： 学部学生への学術集会参加費助成(2023年度延べ8件助成)			
4) 千葉大学附属図書館亥祭分館への寄付	100,000	100,000	0
内訳： 看護系専門図書館贈 「早産児・低出生体重児の成長と発達のみかた」他21点			
5) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）	11,000	0	11,000
6) 通信費（同窓会用Zoom年間ライセンス契約費）	21,000	23,662	△ 2,662
7) 雑費（振込手数料等）	2,000	760	1,240
2. 総務委員会	計 33,000	7,879	25,121
1) 会議費（交通費・茶菓子代）	10,000	0	10,000
2) 郵送費（事務連絡通信費）	6,000	0	6,000
3) 人件費（事務作業費1,100円×2.9時間）	11,000	3,200	7,800
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代・印刷等）	5,000	4,679	321
5) 雑費（振込手数料等）	1,000	0	1,000
3. 名簿・たより委員会	計 1,236,573	1,118,419	118,154
1) 会議費（交通費・茶菓子代）	10,000	0	10,000
2) 名簿制作費（今年度実施なし）	0	0	0
3) たより印刷発送費	964,573	969,390	△ 4,817
4) メンテナンス・データ処理	135,000	110,000	25,000
5) 個人票関係費（督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代）	100,000	24,402	75,598
6) 人件費（事務作業費1,100円/時間×10時間）	22,000	11,000	11,000
7) 郵送費（名簿購入者への郵送代等）	2,000	0	2,000
8) 雑費（振込手数料等）	3,000	3,627	△ 627
4. 広報・渉外委員会	計 125,000	9,707	115,293
1) 会議費（交通費・茶菓子代）	10,000	0	10,000
2) ホームページ更新費	45,000	9,377	35,623
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷）	55,000	0	55,000
4) 渉外費	0	0	0
内訳： 同窓会企画謝金※紙面総会・企画実施無しのため支出無し 同窓会企画交通費※紙面総会・企画実施無しのため支出無し 入学記念品作成代※2021年度に作成済み（クリップボード500個）			
5) 消耗品費	1,000	0	1,000
6) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）	11,000	0	11,000
7) 郵送費	1,000	0	1,000
8) 雑費（振込手数料等）	2,000	330	1,670
5. 予備費	計 4,299,014	4,744,272	△ 445,258
1) 次年度への繰越金		4,744,272	

2023年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会の会計監査を実施した結果、
収支共に正当であることを認めます。

2024年4月2日
監査
箱佳淑子
小川純子

2024年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
予算(案)

項 目	予 算
収入の部	計 5,689,372
1. 会費	計 5,680,372
1) 繰越金	4,744,272
2) 2024年度新入会員終身会費（12,000円×78名） 内訳：学部卒業生77名 修了生1名	936,000
3) 利子	100
2. 寄付	計 0
3. 名簿委員会	計 9,000
名簿代振込見込み（3,000円×3件）	9,000
支出の部	計 4,689,372
1. 理事会	計 484,000
1) 会議費（理事会活動手当）	18,000
2) 交際費	230,000
内訳： 校友会費（50,000円） 慶弔金（70,000円）※退官記念品等含む 亥祭祭への寄付（50,000円） 学部オープンキャンパス運営補助（60,000円）	
3) 準会員への支援	100,000
内訳： 学部学生への学術集会参加費助成（土曜10,000円×10件）	
4) 千葉大学附属図書館亥祭分館への寄付	100,000
5) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）	11,000
6) 通信費（Zoom年間契約費）	23,000
7) 雑費（振込手数料等）	2,000
2. 総務委員会	計 41,000
1) 会議費（委員会活動手当）	18,000
2) 郵送費（事務連絡通信費）	6,000
3) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）	11,000
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代・印刷代等）	5,000
5) 雑費（振込手数料等）	1,000
3. 名簿・たより委員会	計 1,183,573
1) 会議費（委員会活動手当）	27,000
2) 名簿制作費（今年度作成なし）	0
3) たより印刷発送費	964,573
4) メンテナンス・データ処理	135,000
5) 個人票関係費（督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代）	30,000
6) 人件費（事務作業費1,100円×20時間）	22,000
7) 郵送費（名簿購入者への郵送代等）	2,000
8) 雑費（振込手数料等）	3,000
4. 広報・渉外委員会	計 170,000
1) 会議費（委員会活動手当）	30,000
2) ホームページ更新費	45,000
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷）	55,000
4) 渉外費	25,000
内訳： 同窓会企画謝金※オンライン企画予定(謝礼5,000円×5名予定) 同窓会企画交通費※オンライン企画のため支出無し 入学記念品作成代 ※2021年度に作成のため無し（クリップボード500個）	
5) 消耗品費	1,000
6) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）	11,000
7) 郵送費	1,000
8) 雑費（振込手数料等）	2,000
5. 50周年記念事業助成金	計 1,000,000
6. 予備費	計 2,810,799



2024年度同窓会総会のご案内

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度のご案内では、2024年度同窓会総会について、オンライン総会として開催させていただくことをご報告申し上げます。
多くの皆様のご参加、ご意見をお待ちしております。

- 日時 : 2024年6月22日(土) 14時30分～ (15分前より入室可)
- 会場 : オンライン (Zoom)
- 内容 : 2023年度事業報告、決算報告、2024年度役員選出、活動方針、予算案、その他

【2024年度総会へ参加くださる皆様へ】

*オンライン総会は、Zoomを使用して開催します。下記のURLにアクセスいただきご参加ください。

URL : <https://us02web.zoom.us/j/82059212221>

ミーティングID : 820 5921 2221 パスコード : 860940

会員限定の会となりますため、URL・ID・パスコードのお取り扱いには十分留意してください。

*当日の資料配布はございませんので、たよりを総会資料としてお持ちのうえ、ご参加ください。

*当日の会の様子は、録画させていただきます。ご了承くださいませ。

2024年度総会議案

2024年度の活動方針については会長の「ご挨拶」をご参照ください。2023年度決算報告書は資料1に、2024年度予算案は資料2に示します。また、新役員・評議員案を資料3、新委員会案を資料4に示しました。評議員会から、会長に森恵美氏を推薦します。また、副会長に岡田忍氏、石橋みゆき氏、丸山優氏を推薦します。

資料3 2024年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会 新役員・評議員案 () は卒業期

会 長 森 恵美 (3)	13期 常田 千佳 末永 由理	28期 鈴木 悟子 宮川 祐子	41期 川末菜央子 松村 彩
副会長 石橋みゆき (14)	14期 石橋みゆき 加藤美江子	29期 松岡 大樹 太田 愛	42期 小川 義弘 小田桐映舞
丸山 優 (21)	15期 大塚 千春 飯野 理恵	太田 潤	43期 加藤美香子 峰木 瞳
岡田 忍 (3)	16期 新井 典子 飯島 久美	30期 佐野 元洋 渡邊 賢治	44期 小川 華歩 原田 千聡
評議員	17期 北島 美奈 松林 美子	31期 屋久 祐介 吉田 真美	45期 佐々木康乃 高取 志保
1期 伊藤 隆子	18期 神津 三佳 中嶋 秀明	32期 山崎由利亜 橋内 伸介	46期 井上 真緒 田代 真子
2期 田中 裕二 中村 伸枝	永田亜希子	33期 伊藤真理子 松戸 麻華	修了生 仲井 あや
3期 岡田 忍 森 恵美	19期 藤本 紀子 齊藤 千晶	34期 青木 美和 能川 琴子	
4期 島田 尚江	20期 長瀬明日香 渡邊 美和	後藤 靖江	監 事 和住 淑子 (10)
5期 酒井 郁子 本田 彰子	21期 菅谷 綾子 時田 礼子	35期 荻野穂奈美 霜村 菜奈	小川 純子 (15)
6期 児玉三枝子 遠藤 恵子	22期 山下 亮子 高橋 良幸	田中 貴大	会 計 岩瀬 靖子 (21)
7期 亀崎 路子 北川 公子	23期 長谷川智子	36期 川島 悠佳 加瀬竜太郎	山崎由利亜 (32)
8期 湯浅美千代 山倉 美典	24期 小川 俊子 秋山 愛	37期 工藤ひかり 田近 祐子	佐々木ちひろ (34)
9期 荻野 雅	村山 陽子	38期 富田 千尋 矢崎 萌子	
10期 錢 淑君	25期 伊藤 明子 松本美佐子	39期 森元 花織 大和田理恵	
11期 野崎 章子 坂上 明子	26期 鈴木 和也 内海加奈子	池田 結	
12期 末永 香 石丸 美奈	島村 敦子	40期 澤本 美芽 黛 瑛里香	
河部 房子	27期 国原 健史 鉄矢 朋子	櫻庭 唱子	

資料4 2024年度 千葉大学看護学部・研究科同窓会 新委員会案 () は卒業期

総 務 委 員 会	委 員 長	中水流 彩 (24)			
	副委員長	小川 俊子 (24)			
名簿・たより委員会	委 員	白井 智子 (24)	佐野 元洋 (30)	坂井 文乃 (33)	櫻庭 唱子 (40)
	委 員 長	雨宮 歩 (26)			
	副委員長	石松 夏子 (26)			
	委 員	野崎 章子 (11)	永田亜希子 (18)	秋山 愛 (24)	松戸 麻華 (33)
広報・渉外委員会		松村 彩 (41)	仲井 あや (修)		
	委 員 長	時田 礼子 (21)			
	副委員長	田中 貴大 (35)			
	委 員	加藤美江子 (14)	神津 三佳 (18)	山下 亮子 (22)	武川 美樹 (35)
		杏澤 夏菜 (40)	坂口 葵 (40)		

学術集会参加報告

平成25年度より、学部生の準会員に対して学術集会参加費を助成しています。また、卒後1年以内に卒業研究を発表する会員の学術集会参加費を助成しています。2023年度は7名に対して助成しました。2024年度も助成を継続し、多くの同窓生が学術集会に参加できるよう広報に力を入れていく予定です。

助成対象者	会員／準会員	学術集会名
高木 若奈 さん	会員(卒業生)	日本糖尿病教育・看護学会学術集会
浅田 野々 さん	会員(卒業生)	日本看護研究学会 第49回学術集会
廣畠 薫留 さん	会員(卒業生)	日本看護研究学会 第49回学術集会
岩井さやか さん	準会員	グローバルヘルス合同大会2023
法月 茉里 さん	準会員	グローバルヘルス合同大会2023
		看護師国際サミット
江尻 広音 さん	準会員	グローバルヘルス合同大会2023
田代 真子 さん	準会員	日本看護教育学学会 第32回学術集会



2023年度
亥鼻祭実行委員会サークル
委員長 薬学部3年 鳴坂花菜
委員長 薬学部3年 山崎拓海

令和5年11月5日、亥鼻祭2023が亥鼻キャンパスにて開催されました。当日は天候にも恵まれ、2,300名以上のご来場者様をお迎えしました。

みなはな記念講堂では医薬看三学部より先生方をお招きし、講演会を行いました。ご講演はどれも興味深い内容で非常に分かりやすく、幅広い方々にお楽しみ頂きました。野外ステージでは亥鼻バンドサークル、IDC、舞部による公演が行われました。出演する学生たちは亥鼻祭の晴れ舞台に向けて積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、観客の皆様へ最高のパフォーマンスをお届けすることができました。看護学部棟では医療体験企画や受験生向け企画などを行いました。特にコロナ禍を機に力を入れている、VR

やARなどの技術を利用したゲーム企画は、お子様から大人の方までお楽しみ頂きました。そして、4年ぶりの復活となった食品販売では、学生団体、外部キッチンカーによる出店を行いました。学祭の目玉とも言える念願の食品販売の復活に、コロナ前までの活気が戻ってくるのを感じました。

今年度も多くの皆様のご支援ご協力に支えられ、無事に亥鼻祭を開催することができました。改めて厚く御礼申し上げます。来年度以降も学内外の多くの方々にお楽しみ頂ける亥鼻祭を創るべく、委員一同尽力して参ります。今後ともご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

特集

第6回「未来のいしずえ賞」受賞のお知らせ



千葉大学名誉教授である佐藤禮子先生が、看護学の未来を切り拓いてきたこれまでの多大な貢献に対して、KODAMA国際教育財団未来のいしずえ賞を受賞し、2023年3月28日に行われた授賞式に参加されました。千葉大学看護学部/大学院看護学研究科の同窓生一同、心より喜び申し上げます。

佐藤禮子先生 受賞コメント

このたび受賞した「未来のいしずえ賞」は、未来に向かって豊かな社会の礎を築くために、人知れず地道な努力を重ねている人、誰も目を向けてなかった領域に挑戦している人の功績を讃える国際賞とのことでした。本受賞は共に働いてきた皆様のおかげに他なりません。がん治療等の影響を受けた方々に活用されるヘアドネーション事業に対する長年の参画が認められたものであり、とても嬉しく思っております。

看護学部/看護学研究科、そして同窓生の皆様におかれましては、益々のご活躍とご発展を祈念しております。

千葉大学名誉教授 佐藤 禮子



特集

退官される先生からのメッセージ

シンボルツリー

手島 恵

2001年4月1日の着任以来あっという間の23年間でした。2002年から看護学研究科の独立専攻として看護システム管理学の開設にかかわることができたのは、私のキャリアを豊かなものにしてくれました。このような機会に恵まれましたことに、心より感謝したいと思います。

2001年に久しぶりに戻ってきた亥鼻キャンパスは、私が1981年4月に修士課程に入學した時から、ほとんど変わっていませんでした。しかし、2019年から始まった道路拡幅工事により、看護学部の周囲も大きな影響を受けました。

看護学部玄関の前に夏になると赤い花をつけていた百日紅の木

は、丁寧に別の場所に移植されました。玄関に向かう左手にアジサイがあり、梅雨時、気がめいりそうな時も、ふと目をやると雨の中、美しく咲く花に癒されていました。あまり気づく人のいなかったのか、このアジサイを切ってしまうという話を聞きました。

これはたいへんと岡田忍先生にお願いし、研究室の西尾先生をはじめ皆様でこのアジサイの枝を挿し木にして、1年後には南棟と窓際に、しっかり根をはり花をつけてくれました。

亥鼻キャンパスでの皆様の心のシンボルツリーは何ですか？おそらく、亥鼻キャンパスは、これからも変化し続け、看護学部のある場所も変わっていくでしょう。ぜひ、次世代の皆様に願います。建物が移動するようなことがあった場合には、百日紅とアジサイ、他にも皆様の心を癒してくれた木々と一緒に連れていていただきたいと願っています。

千葉大学看護学部とともに
4+2+31年間で終えて

千葉大学大学院看護学研究院 名誉教授・特任教授 森 恵美

私は千葉大学看護学部の3期生で、1977年4月に入学、4年後に卒業し、東京の恩賜財団母子愛育会附属総合母子保健センター愛育病院に助産師として就職しました。6年間の臨床経験後、看護観をしっかりと持った助産師・看護職を育成したいという思いから千葉大学大学院看護学研究科修士課程（現在の博士前期課程）に入學しました。修士（看護学）を取得した後、私学の4年制看護大学の助手・講師を経て、博士後期課程が新設された1993年4月に母校の母子看護学講座の助教授に就任しました。2000年4月から教授に昇任し、千葉大学で31年間、主に看護学の教育研究、特に、母性看護学教育、助産師教育、母性看護学領域の研究指導を担当しました。ということで、千葉大学看護学部・看護学研究科とともに37年間、人生の半分を過ごして参りました。この間、至らない点も多々ございましたが、お陰様で無事に定年退職を迎えることができましたことに安堵しております。学部生や大学院生、教職員はもとより様々な場面で出会った沢山の方々からご協

力、ご支援をいただきました。私の教育研究活動にお力添えをいただいた恩師や同窓生、同僚、教職員等全ての皆様に、この場をお借りして心から深くお礼を申し上げます。

さて、助産師midwifeの語源は古語の'midwif'で、『mid』は「with:〜と共に、付き添う」「wif」は「woman:女性」で「with woman」『女性に付き添う人』という意味があり、新しい生命の誕生を支援する人であります。看護学教育者も人に寄り添い、一人の看護職の誕生を、看護系大学院教育も一人の看護学教育研究者の誕生を支援するという、共通性を感じつつ、「青は藍より出でて藍より青し」という気持ちで31年間務めさせていただきました。現職の時は、卒業生や修了生の千葉大学から飛び立った後の活躍を知ろうとする余裕があまりございませんでしたが、誕生を見届けた者としてその後の教え子の成長やご活躍は何よりも嬉しいものです。令和7年度には千葉大学看護学部創立50周年で、記念集会が計画されると期待しております。皆様には、是非とも記念集会にご参集いただき旧交を温め、母校の発展を祈念していただければと思います。また、その際に教え子の皆様には、「〇期の〇〇（旧姓）ですけど…」と近況報告していただけますと幸いです。私も2年間は千葉大学で特任教授として研究を継続しますので、引き続きよろしく願いいたします。

■ 恩師からの贈り物

岡田 忍

同窓会からは、退官に際して記念の贈り物をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。同窓会では本人の希望をきいて記念品を選んでくださるのですが、私は晴雨兼用の折りたたみ傘をお願いしました。傘をお願いしたのは、千葉大学に着任した時に博士の指導教員の先生が、「ポストを得た修了生には人生のいろいろな災いが降ってきても守ってくれるように傘を贈っている」と、奥様にお願いして選んでもらったという傘をくださったからです。同窓会からいただいた傘もきっとこれから私に降りかかる災いから私を守ってくれると思っています。

2000年10月に病態学講座の助教授として千葉大学看護学部に着任してからこれまでを振り返り、今強く感じていることをお伝えして、退官のご挨拶としたいと思います。

私が担当していた学部授業である病態学実習Ⅰでは、実際の病理標本を観察します。看護学部の卒業生にとっては当たり前のことかもしれませんが、実はこのような実習を行っている看護系大学はほとんどありません。病態学Ⅰの講義の中でも、実際の病理標本をできるだけ使い、対象者のからだの中で起こっている変化をイメージできるようにしてきました。肺線維症の標本を見せた時には、ある学生さんのレスポンスペーパーに「私たちは『肺が硬くなっている』ということなのかなをちゃんと知ってる」とあったのを見て、すごくうれしかったことを思い出します。

■ 同窓生の皆様へ

健康増進看護学講座 北池 正

私は、1999年4月に着任して25年間勤務しました。専門は保健学ですので、保健学教室があることに惹かれて岡山県立大学から異動してきました。そのため、学部では保健学Ⅰ・Ⅱ、保健情報学、保健学演習を担当し、大学院では保健学特論を担当してきました。皆様方にとっては、看護学の中で保健学を学ぶことの違和感があったかもしれませんが、樹木も根元を広げると、よりしっかりと育つことを例に、専門基礎科目としてご理解していただくようにしました。

同窓生の皆様は、看護系大学の中でも非常に優秀な方ばかりでした。私の公立大学での勤務や私立大学の非常勤講師の経験から得た感想です。例えば、演習や卒業研究、修士論文において、私の指導は不親切で、手取り足取りの指導ではありませんでした。少しのコメントを各自が咀嚼し、私の期待以上の成果をあげてく

ます。

実は、実習や講義で使わせていただいたこれらの標本のほとんどは、看護学部創設時の病態学講座(現看護病態学)の助教授であった中村宣生先生が病理解剖をしたご遺体から提供していただいた剖検材料を学生の教育用に準備してくださったものです。自分が病態学を教授する立場になってはじめて、中村先生がいかに貴重な財産を残してくれたのか、自分たちがどんなに丁寧な教育を受けてきたのかを感じ、同時に、今度は私がそれを私が教える学生たちに引き継がなくてはと強く思いました。

最近、『世界は贈与でできている』(近内悠太著、ニュースピックス)という本を読む機会がありました。この本の中では、交換可能なものは贈与ではないとしています。この定義にしたがえば、研究は、教員が費やしたエフォートの対価として研究業績という対価を受け取ることができるので、贈与ではありません。しかし、教育をするときに教員は学生から直接的な見返りを期待しているのでしょうか？その意味で、教育は贈与だといえます。

贈与は自分が受け取ってしまったという負い目からスタートし、次の人に贈与することで、この負い目から解放されます。私が千葉大学着任時に中村先生が残してくれた標本を見て感じたのは、まさにこの負い目だったのでしょうか。私が恩師から受け取ってしまった贈り物がちゃんと卒業生の皆様に手渡されたことを願いつつ、稿を終えたいと思います。

最後になりますが、千葉大学看護学部・看護学研究科・看護学研究院の益々のご発展と同窓生の皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

ださる姿は、何度も拝見し驚かされることばかりでした。

保健学教室も健康管理看護学領域となり、2015年4月からは大学院博士後期課程を設置していただきました。これ以降、修了生も出すことができました。研究の発展は、大学院生の貢献が大きく、ようやく看護学の中で保健学も理解する研究者の育成ができたことは大きな喜びです。

看護学の教育・研究、実践の発展は、皆様方のご活躍にかかっていると思います。これまでもそうでしたが、看護系大学が非常に増えた現在、牽引していく役割や期待は益々高くなってきていると思います。専門職者として、学び続けることが大切ですので、大学や同窓会とのつながりを持ちながら進んでいくことを願っています。

定年退職にあたり、同窓会より素敵なネクタイをいただきました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。これからもしばらくは看護学教育に携わり、看護学が発展していくことに尽力をしたいと思います。

■ 同窓生の皆様へ

健康増進看護学講座 小宮山 政敏

看護学部の教授に就任してからあつという間の11年間でした。この間、大過なく定年を迎えられたのは、看護学について何も知らない私を温かく迎えてくださった先生方や事務職員の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。

解剖学が専門の私の看護学部での使命は学生が体内のイメージを正しく持てるようにすることだと思い、形態機能学の授業では解剖学用語を暗記するよりイメージをつかむことを強調しながら講義を行いました。しかし、いかにせん時間が足りず、実際の体内も見ないでイメージをつかむことは学生には難しく、十分に成果が上がったとは言えないのが残念です。加えて薬理学も講義することになり、後には代謝・栄養学も担当することになりました。専門外のことを教えるのは大変でしたが、自分も一から勉強しなおし、学生と一緒に学ぶつもりで講義を行いました。そこでは、それぞれの科目の関連性を重視しながら、ところどころで各科目の資料を参照しつつ話をしました。その時点で意図が学生に伝わったかどうかは不明ですが、卒業生の何人かから「先生の資料はわかりやすくまとまっていて、国試に役立ちました」と言われたこ

とが救いです。

大学院の授業では肉眼解剖学特論を立ち上げ、医学薬学府と共同で実施しました。実際の体内を観察する機会はめったにないため好評でしたが、コロナ禍により中断し、またカリキュラム改編により閉鎖となりました。そこで新たにアカデミックコミュニケーションⅢを立ち上げ、学術的な日本語の書き方を伝授することになりました。これは自分が大学生の時に先輩から「理科系の作文技術」という本を紹介され、感銘を受けたためです。はじめは数名の受講者でしたが、今は二十数名に受講者が増え、この授業を始めて良かったと思っています。

研究面では、それまでの実験的な研究から機器の不要な肉眼解剖学の研究に切り替え、皮静脈と皮神経の位置関係の解析を行いました。大きな業績は上げられませんでした。このテーマに取り組んだ大学院生が解剖学会で受賞したのが良かったと思います。

仕事をする上で心がけたことは「締め切りまで間があっても、今できることなら今やる」ということです。書類を早めに仕上げ時間にゆとりを持つことにより、大学院生からの突然の研究指導要請にいつでも応えられるようになり、また書類の提出を待つ方々からも喜ばれました。

最後にもう一度、私を支えてくださった方々に感謝の意を表し、稿を終えたいと思います。ありがとうございました。

会員情報の変更について

★メールアドレスのご登録をお願いします★

今後、学部や同窓会よりタイムリーな情報共有のために一斉メールをすることが検討されています。普段使用しているメールアドレスをご登録ください。どのアドレスを登録しているかわからない方も、念のため、下記、会員情報変更ページより、使用を希望されるメールアドレスをご登録ください。

会員情報に変更がない方はご連絡不要です。会員情報に変更がある方は、できるだけWEBページで、それが難しい場合には個人票で会員情報の変更をお願い致します。また、「近況報告」ご希望の方、総会について「非承諾」・ご意見のある方も、6月末日までにご登録をお願い致します。WEBページでは一年中、会員情報の変更が可能です。

＜WEBページによる会員情報変更、近況報告、総会へのご意見登録方法＞

<https://ours1.net/chiba-univ.nursing/> にアクセスします。

右のQRからでもアクセス可能です。

ID : chiba-univ.nursing
パスワード : dosokai

「登録情報変更あり」をクリックして内容を入力し送信してください。
ご自分のメールアドレスにも確認メールが届きます。近況報告や総会へのご意見は「登録情報変更なし」をクリックし、ご登録ください。



会員情報更新・変更
WEBページ QR

＜個人票による会員情報変更、近況報告、総会へのご意見登録方法＞

可能な場合にはWEBページよりご登録をお願い致します。変更・訂正事項記入欄に修正内容をご記入、または近況報告や総会へのご意見をご記入ください。

変更方法に関する注意点

- ☆勤務形態、設置主体、職種、職位は表から番号を選択してください。
- ☆現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、（在学中）とご記載ください。勤務を続けたまま学生をされている方（科目等履修も含む）は、勤務状況と学校名の両方のご記載をお願い致します。
- ☆名簿発行の際に連絡先の掲載を希望しない場合は、該当する記載欄に（不掲載）とご記載ください。

会員情報に変更がありましたら、WEBページまたは個人票の返送により必ず変更してください。

会員情報は、同窓会からのあらゆる連絡（たよりの発行等）のために使用しております。また、卒業生・修了生の現在の活動状況を知る重要かつ唯一の資料となっておりますので、必ず会員情報の変更をしてくださるようお願い申し上げます。

！名簿の情報流出にご注意ください！

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。名簿発行後に情報が流出したと考えられる事例が報告されております。皆さまのお手元にある名簿の管理については充分にご注意いただきますようお願いいたします。古くなった名簿を破棄する場合には裁断（シュレッダ）するなどしてデータが万が一にも流出しないよう管理の徹底をお願いいたします。

令和6年度 大学院看護学研究 教員紹介

研究部門	講 座	教 授	准教授	講 師	助教・助手	特任教員 技術職員
先端実践看護学	高度実践看護学	富岡 晶子 眞嶋 朋子 増島 麻里子 酒井 郁子	佐藤 奈保	小川 俊子	中水流 彩 楠 潤子 佐野 元洋 佐伯 昌俊	(技術専門職員) 西尾 淳子 (特任助教) 田中 優子 (特任助教) 小柴 梨恵 (特任研究員) 國武 由香里 (特任講師) 田崎 牧子 (特任研究員) 佐藤 睦 (特任研究員) 臼井 智子 (特任研究員) 曾 嶺 (国際高等研究基幹 特任助教) 依田 智未 (特任助教) 西宮 岳
	高齢社会実践看護学	正木 治恵	石橋 みゆき 黒田 久美子		佐々木ちひろ	(特任助教) 石井 彩 (特任助教) 山崎 由利亜 (特任助教) 姚 利
生活創成看護学	健康増進看護学	大内 基司 前原 邦江 池崎 澄江		雨宮 歩	木村 佳代子 遠山 房絵	(特任助教) 田原 裕希恵 (特任教授) 森 恵美
	地域創成看護学	田上 美千佳 宮崎 美砂子 石丸 美奈 諏訪 さゆり ※研究院長	飯田 貴映子	岩瀬 靖子	鈴木 美央 坂井 文乃 湯本 品代	(特任助教) 田原 郁恵 (国際高等研究基幹 特任研究員) 佐藤 太一 (特任助教) 犬山 彩乃 (特任研究員) 上元 達仁
文化創成看護学	文化看護学		斉藤 しのぶ		飛世 真理子 齊藤 可紗 ニヤマザオ アビスティン	
	専門職育成学	中山 登志子	井出 成美	野崎 章子	カズノブ ダビッド (助手) 植田 満美子	(特任准教授) 下井 俊典 (特任講師) 孫 佳茹 (特任助教) 辻野 拓也
	看護政策・管理学	和住 淑子	錢 淑君 杉田 由加里	飯野 理恵		(特任教授) 島田 陽子
附属センター						
看護実践・教育・ 研究共創センター		センター長 (和住 淑子)				
専門職連携教育 研究センター		センター長 (酒井 郁子)	(井出 成美) (特任准教授) (下井 俊典)	(特任講師) (孫 佳茹)		

* 下線…正会員